

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	岩 淵 惣二	法人・ 事業所 の特徴	「すべては地域のために」を法人理念とし、事業所では本人の想いや願いを大切に、家族・地域みんなで納得し、おりあいをつけながら、生活の継続ができるよう、また、個々の人財を活かし、高い倫理性を持った職場づくりと、地域に開かれた求められる福祉拠点を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム にいだ	管理者	斎藤 竜也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	7人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者対応を軸に業務改善を図り、関わりを充足に努める。関わりを充足することで、自己評価において自己肯定につなげていけるよう取り組む。	細かい不随業務の実施方法や実施時間、合理化等、総合的に考えながら職員同士で検討し対応してきた。大きな効果としては見えにくいですが、利用者との関わりが増えたことで、ヒヤリ・ハットや気づきがこれまでよりも報告されるようになっていく。	良い効果を職員間で話し合いの場等で共有していくことで、より仕事に対するモチベーションにもつながると思います。そういう機会をこれからも作って行って欲しいです。	利用者対応を軸に業務改善を図り、関わりを充足に努める。関わりを充足することで、自己評価において自己肯定につなげていけるよう取り組む。(前期計画継続)
B. 事業所のしつらえ・環境	開設 11 年経過し、各所建物の経年劣化が見られてきている為、都度必要な修繕や購入も検討しながら、利用者のご不便につながらないようにしていく。	利用者に影響が出る可能性の高いものから優先的に修繕や購入を行ってきた。	利用者に不利益となることや危険が生じないように、また、職員の労働環境も安全になれるよう、これからも対応して行ってください。	各所建物の経年劣化が見られてきている所は、継続して必要な修繕や購入も検討しながら、利用者のご不便につながらないようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	可能な範囲で参加可能な行事やイベント等へ参加させていただき、事業所と地域のかかわりが維持できるよう取り組む。	業務と両立できる範囲で、今年度は新田城まつり会場準備や旭ヶ丘まつり、大館地区新年会や旭ヶ丘地区新年互例会へ職員参加できている。	今後も無理のない範囲で取り組んでください。	可能な範囲で参加可能な行事やイベント等へ参加させていただき、事業所と地域のかかわりが維持できるよう取り組む。(前期継続計画)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	これまでの生活スタイルや生活環境を支えながら、自宅での生活をより継続できるよう取り組む。また、事業所だけで支えるのではなく、本人にとって関わってくれる方々との連携を強化し、一体的に支えられるようにする。 (前期計画継続)	培ってきた生活力に目を向け、維持できるような支援の必要性を職員間で検討しながら取り組んだ。また、近隣に住む利用者の親戚にお会いする機会もあり、利用時だけでは把握できなかった関係性等も把握できたこともあった。	本人のできることを最大限活かせるよう配慮し、安心して生活できる取り組みを継続して行って欲しいです。	訪問時の様子や利用者や家族との関係性等をきちんと職員間で情報共有し、統一した支援ができるよう取り組んでいく。また、不安定さを全て支えるのではなく、本人や家族ができる方法を一緒に検討し、支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所だけで支えるのではなく、本人にとって関わってくれる方々との連携を強化し、一体的に支えられるよう、地域資源の活用に向けた助言やアドバイス等を活かしていく。	事業所近隣で有事の際に協力してくれる方々の情報や連携方法等について助言・アドバイスいただいている。	有事の際の協力をお願いだけでなく、きちんと事業所に呼んで、何を聞いて欲しいのか、どのようなことを行って欲しいのか等、具体的に話し合っておくことが良いと思います。	課題都度、自分達を律し対策を講じていくことで精神的負担も大きく、仕事に対するモチベーション低下にもつながる可能性がある為、客観的視点からの助言やアドバイスを活かし、事業所運営に取り組む。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>職員に対してBCPの周知、訓練を通しての見直しを図りながら実際の現場に即したものと精度を上げていく。(前期計画継続)</p>	<p>BCPは法人で策定している。災害時の必要物品について保管場所の課題や、代用品や応用が可能か等、策定した後に様々見直す点も見えてきている。</p>	<p>有事の際の協力のお願だけでなく、きちんと事業所に呼んで、何を願っていたのか、どのようなことを行って欲しいのか等、具体的に話し合っておくことが良いと思います。</p>	<p>職員に対してBCPの周知、訓練を通しての見直しを図りながら実際の現場に即したものと精度を上げていく。(前期計画継続)</p>
----------------------------	---	---	---	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 23 日 (13:45~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 滝・信田・島脇・加藤・澤口・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画
個別に必要な情報が違う為、送迎時や日々のケアの中から詳しい情報を引き出すための声掛け等を工夫していき、初めて知り得た情報は職員同士で声掛けをし、記録入力することで職員間の情報共有を強化していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
情報を口頭で伝えていても正しく伝わっていない時もあった。また記録入力したいがパソコンが空いていなかったり、業務に追われていたり記録入力する時間が確保できない時もあったが、職員同士で声を掛け合い時間を確保し気づきや変更点等を記録に残し他職員へ発信することが出来ている。以前より記録入力が出来ていると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	0	0	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	0	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	0	0	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	12	0	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新規利用者の小さな気づきでも記録入力し、共有できている。
- ・ミーティングや申し送り、ホワイトボードなどで情報を共有。
- ・短い時間ではあるが送迎時に家族と話をし、情報収集をしている。
- ・利用開始前にアセスメントシートの閲覧、またはケアマネからミーティング時情報提供され全職員が共有できている。
- ・事前にケアマネが本人や家族から情報を聞いて、より良い関係作りができていると思う。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・得た情報を共有する為記録入力、ミーティング等で発信しているものの全て完璧に共有できるまでに至っていない。
- ・記録を読んでも職員の解釈にずれが生じている。
- ・家族が希望する支援と本人が希望する支援と差があり戸惑う時がある。
- ・利用者様の不安な気持ちをうまく受け取れず不安にさせたと思うこともあった。必要な支援ができたか考えてしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
発信方法や記録内容が分かりづらい物もあった為、発信方法や記録内容の統一化を図り、対応方法だけでなく対応の根拠まで記録することでケアの統一につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 24 日 (13:30~13:50)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 齋藤・滝・加藤・川口・澤口・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	5 人	2 人	13 人

前回の改善計画
自分達が対応したり提供してみた余暇の状況等を踏まえ、ケアマネジャーに提案していくことでケアプランの作成に参画していき、ケアプランの位置付け、重要性を再確認していく。ケアマネジャーがケアプラン更新 1ヶ月前に提示し、職員から意見を確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の利用状況や余暇活動の状況・日中の様子等をケアプラン更新時期にケアマネジャーへ意見を伝えられている職員もいれば出来ていない職員もいる。しかし各担当利用者のケアプラン更新時期はいつか気に掛けるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	3	8	0	13 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	7	0	13 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	6	0	13 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	5	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ケアマネにより家族との面会内容が依然より明確化し、状況の把握、利用者、家族の思いが理解し、対応できる状況がアップしたと思える。・担当利用者のアセスメントシート更新により担当利用者の自己実現を再認識に繋がっている。・毎月モニタリングでの情報に目を通すことができて、知り得なかった情報を得られている。・ケアマネが提示したケアプラン更新時期にアセスメントシートを更新し余暇活動の状況をケアマネに伝える事ができている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・完璧な「～したい」の実現には遠いが、利用者とのコミュニケーションにより思いを聞き出す努力はしている。・業務に追われケアプランについての意見を出せていない。・日々の業務に追われ利用者の自己実現に対する支援が提供できているのか不安に思う時がある。・コミュニケーションをとることが難しい利用者の思い (目標) をくみ取るのは難しいと感じる時がある。(表情、行動から観察し思いを理解しようと努力するが…)

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	自分達が対応したり提供してみた余暇の状況等を踏まえ、ケアマネジャーに提案していくことでケアプラン作成に参画していき、ケアプランの位置付け、重要性を再確認していく。ケアマネジャーがケアプラン更新 1ヶ月前に提示し、職員から意見を確認していく。職員もケアマネへ余暇活動や日中の様子等を伝え忘れの無いように注意していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月26日(13:55~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 滝・佐藤・信田・島脇・村上・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	0人	13人

前回の改善計画
職員間の情報共有として記録入力に関する取り組みは定着されてきたが、必要な情報が抜けていたり記録内容の不備が見られる時がある。その為、他職員と記録内容の確認を行いながら入力し、記録の質の向上に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
以前に比べ、声掛けし合い記録内容の不備や記録の漏れが少なくなったが、記録内容に主観が入っていることがあり、必要な情報が分からない等がある。また、対応した内容の記載は多いが、その対応を話し合いで決めた根拠が見えないこともあり、対応変更の意図が伝わらないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	5	1	13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	1	0	13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	4	0	13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1	0	13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	4	0	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・声掛けをしあい、記録の漏れや不備が少なくなってきている。・本人の状況に合わせた基本的な対応は出来ている。・日々の支援提供の中で得た気づきはミーティングで発信・共有・改善等の話し合いをしている。・非言語的(姿勢・表情・動き等)から推測される事を発信共有することで、本人の声にならない声に気付こうとしている。・記録に関しては、声を掛け合いながら漏れの無いよう努めている。内容も不明点や不足等があれば、都度声掛けができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・状況が変わった時に情報が曖昧でその時に合わせた対応が出来ていなかった。・気づいた事等ミーティング時に発信できず、取りこぼしている事がある。・本人の状態が変わった際に情報や介護支援も変わったりするが、理解しないまま以前と同じ支援をしたり支援内容が変わった事を忘れていたりしている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	記録の仕方を見直し事実のみを記録に残すようにし、読んだ人が同じ目線で理解できるようにしていく。また、記録に目を通した上で不明な点については、後回しにせずきちんと確認しあうようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月27日(14:15~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 滝・佐藤・澤口・野田・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	2人	0人	13人

前回の改善計画

客観的に見た生活の不安定さ＝本人の生活のしづらさには直結しないことを共通認識し、利用者の培ってきた生活力を最大限発揮してもらえよう、できている所、できなくなってきた所を見極め、双方を支えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の出来ていることは見極めて支援できているが、出来なくなっていることについて生活状況から推察はできているが、そこに対する支援方法が妥当・適切かどうか曖昧な時もある為、独居者の自宅での生活状況の情報収集の難しさを感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	3	1	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	3	1	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	5	1	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	6	1	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の出来ることを奪ってしまわないよう、本人のペースに合わせ介助している。
- ・家族からの情報はモニタリングの様子を印刷、申し送りにファイリングする事で共有把握できている。
- ・送迎時は家族の方とコミュニケーションをとり、体調など変わりがないか確認し、利用者には本人の話を聞き、困りごとや日常の変化に気づく事ができていると思う。
- ・ケアマネの配慮により家族、利用者との関わりが、つかめやすくなった為、以前よりも支援の取組みがしやすいようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・これまでの人間関係、地域との関わり、自宅での様子等把握できていない。
- ・利用者、家族に必要な地域の社会資源の把握が出来ていないと思うことがある。
- ・本人が自宅でどのように過ごしているか把握できていない、利用者も中にはいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

現在、家族と同居している方の利用割合が高いことから、家族の就労状況を加味することで通い・宿泊の利用頻度が高くなっている為、可能な限り自宅で過ごせる時間を確保し、在宅生活が続けられない支援方法を本人・家族と一緒に相談していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 10月 28日 (14:00~14:20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 峠館・信田・川口・坂上・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	0人	1人	13人

前回の改善計画
 以前よりも独居者や高齢世帯の方々の利用率は減少し、家族と同居している方の利用率が高くなっていて、家族の就労に合わせて支援を組み立てる必要性が高くなってきている為、支援の必要性の見極め、本人・家族・事業所の役割の明確化を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 同居家族の就労や都合に合わせて支援・対応が出来ている。急な宿泊利用の希望が聞かれた際でも柔軟に対応し、どうしても困難な場合には夕食提供後の帰宅等代替案を提案し対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	3	1	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9	0	0	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	1	0	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	1	0	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・家族、本人のニーズに応じたサービスの提供。急な宿泊の依頼にも柔軟に対応できている。受け入れが難しい場合の代替案にも対応できている。
- ・日々の関わり合いの中で、本人や家族がどこまで出来るか気を付けながら、「お願いする所、支援する所」と見極めを行えていると思う。
- ・変化に気づき記録や送りで内容も共有できている。
- ・家族の体調不良の時には、臨時宿泊や通い時間の延長等、対応できている。
- ・本人の体調不良時には速やかに家族に連絡し必要な支援が柔軟にできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の変化について記録入力や共有する事が人によって身につけていないと感じる。
- ・その時の本人の状態に合わせて柔軟に対応できる時と、できない時があるような感じがする。
- ・近所付き合いがあった方も現在では互いに高齢になり、付き合いが無くなっている方も多く、なかなか事業所外での地域資源の活用は限局的となっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

依然として独居者や高齢世帯の方々の利用率は減少し、家族と同居している方の利用率が高くなっていて、家族の就労に合わせて支援を組み立てる必要性が高くなってきている為、支援の必要性の見極め、本人・家族・事業所の役割の明確化を継続して取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 10月 29日 (13:30~13:40)

6. 連携・協働

メンバー 峠館・信田・加藤・川口・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画
非常災害時や火災等の有事の際に避難誘導や見守り等について、特に夜間は近隣住民の協力が不可欠である為、災害協力員として協力いただける住民の方々との連携強化、また、町内会からの助言や回覧板等を活用しながら男性・女性問わず協力していただけるようお願いをし、体制整備に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議にて地域災害協力員について説明している。その後地域災害協力員として協力してくれる方を3名程地域の町内会長様が声を掛けてくださっている。またチラシを製作し、半径200メートルの範囲に限定した地域に対して回覧板を活用し周知することになっていたが、業務優先で後手になってしまっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5	2	3	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	4	4	3	13人
③	地域の各種機関・団体(自治体、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	4	4	3	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	8	4	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ケアマネが、医療機関、福祉用具等、地域事業との会議等行っている。また地域の各種機関のイベントに参加できている。(コロナ5類引き下げによる対応の変化もあった為)
 ・今年度は運営推進会議も随時開催されており、近隣住民から助言を頂いたり、関係性を築く事ができている。
 ・施設周辺の方々とは、挨拶程度からでも会話し関わりを持つよう努めている。
 ・サービス機関との会議や支援センターとの話し合いは管理者が関わっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・以前は(コロナ前)は避難訓練実施したりしていたが、今ではほとんどない。
 ・防災時の必需品等の準備が出来ていない。
 ・コロナ5類になっているが地域の保育園への参加はまだ少し難しい時もある。
 ・登録者以外の方の来訪は、余程の用事がない限り、難しいと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 非常災害時や火災等の有事の際に避難誘導や見守り等について、特に夜間は近隣住民の協力が不可欠である為、災害協力員として協力をいただけることとなった3名の方と、協力して欲しい内容や実際の動き等について説明を行うと共に、関係構築を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 10月 30日 (14:00~14:20)

7. 運営

メンバー 滝・信田・村上・坂上・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	0人	13人

前回の改善計画
サービス増加が顕著である為、限られた人員で介護の質を担保しながら過不足ない支援、不随業務を遂行していけるよう、適宜実際に即した業務改善を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
人員不足でレクリエーション等出来てない日も増えてきている。優先順位を考えなんとか対応しているが、以前に比べ出来ていない事は増えている為、業務改善まで対応できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	8	4	1	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	0	0	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	4	0	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	4	2	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・家族や利用者から意見等あれば報告、話し合いにつなげるようにしている。
- ・運営推進会議は開催できており、頂いた助言等管理者からミーティング時に発信され運営に反映できている。
- ・今現在介護の質を保つ為（人材確保）食事外部発注を本部と検討中である。
- ・管理者が地域の行事や会議に参加している。
- ・人員不足の為、優先度の高いものから対応し、職員間で声掛けしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・サービス増加が顕著であり、業務をこなすだけになっており、業務改善にまで至っていない。
- ・積極的に地域との関わる取り組みができていない。
- ・課題に対する優先順位や取捨選択ができていないことで、業務改善の必要性は理解していても実行ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

サービス増加が顕著である為、限られた人員で介護の質を担保しながら過不足ない支援、不随業務を遂行していけるよう、適宜実際に即した業務改善を図っていく。また全職員が運営推進会議の議事録を回覧し、地域との関わりを理解していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 10月 31日 (13:40~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤・滝・佐藤・加藤・村上・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2人	0人	13人

前回の改善計画

オンデマンド研修に関して、夜勤業務に従事している職員は夜勤中に時間も活用できているが、夜勤業務に従事していない職員の受講時間を日勤帯で確保することが課題となっている為、受講時間を確保できるよう職員間の協力体制の強化を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

協力し声を掛け合いながら期限内に全職員受講することが出来たが、どうしても業務内において優先度が低くなってしまい、期限内に全職員受講することが精一杯であった。しかし、全職員が同じ動画コンテンツを視聴することで、内容に差異がない為、統一した研修を受けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか?	1	11	1	0	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	1	5	5	2	13人
③	地域連絡会に参加していますか?	0	2	3	8	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	1	9	3	0	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・自己申告する人もあれば、宿泊者の少ない時の遅番者に自分の業務を優先するよう声掛けしたり、協力している。
- ・毎回ミーティングでヒヤリハット、気づき等声掛けしている。
- ・ヒヤリハットを活用しミーティングで情報共有し、アクシデント等は少なくなった。
- ・アクシデント、ヒヤリハットがあった際は職員間での共有、話し合いが行われ改善策を講じている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々の業務中に研修を閲覧するのは難しく、夜勤中で時間を確保することが難しい日も多くあった。
- ・勉強会や研修はコロナ禍で開催が少なくなっている為参加していないことが多くなった。
- ・資格取得を目指す職員が少なかったこともあり、積極的な自己啓発は少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

オンデマンド研修から事業所内研修開催へ変更となる為、研修計画に基づき、講師を職員が担っていく。研修資料作成から携わることで、知識・スキルの向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 2 日 (14:20~14:35)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤・加藤・村上・澤口・野田・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	11 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画
重要性が高い為、引き続き職員間で声を掛け合いながら、利用者様の見守りと通常業務遂行に対して組み立てを行い安全な体制を整えることで、人権・プライバシーに配慮したケアを提供していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
声を掛け合う事が増えてきているが、足りない事もあり、プライバシーへ配慮に欠けたケアを行っている場面があったと思う。咄嗟の場面やその場から離れられない場面等、プライバシーへの配慮の必要性は理解していても、難しいこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13 人
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13 人
③	プライバシーが守られている	2	11	0	0	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	8	1	2	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	11	0	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員間で声を掛け合いながら、見守り、業務を行えている。
- ・スピーチロックに気を付け「どうしましたか?」「～しませんか?」と決めつけじゃなく提案する声掛けを意識している。
- ・利用者の安全を考え、スタッフ間で声を掛け合い、人権プライバシーの配慮に努めている。
- ・身体拘束、虐待は行っていない。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ホールがバタバタしていると食事前後のトイレ誘導の把握の声が大きくなりがちになり、利用者へ聞こえてしまっていると思う。
- ・声を低くしたり、名前は出さない等配慮はしているが、ホール内で利用者の情報共有をすることがある。
- ・利用者数名が排泄を希望された時、待つて頂く時がある。
- ・職員間で利用者の情報共有の時に他利用者に聞こえているのではと思う時がある。
- ・時々、職員間で排泄の有無を声に出している時があるので気を付けていきたい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
重要性が高い為、引き続き職員間で声を掛け合いながら、利用者様の見守りと通常業務遂行に対して組み立てを行い安全な体制を整えることで、人権・プライバシーに配慮したケアを提供していく。